授業科目名 <英訳>	京都のまちづくり －文化・科学の交流と地域活性－ Community development policies in Kyoto prefecture -Community problem solving through culture-science communication-	担当者所属 職名・氏名	教育学研究科 教授 高見 茂 教育学研究科 准教授 服部 憲児 学際融合教育研究推進センター 特定講師 柴 恭史 学際融合教育研究推進センター 特定助教 中島 悠介

群	キャリア形成科目群	分野(分類)	ＣＯＣＯＬＯ域	使用言語	日本語

旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義

開講年度・開講期	2016・後期	曜時限	水2	配当学年	主として1・2回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

大学の持つ教育・研究機能は、地域社会の振興・発展に重要な役割を持つ。しかしながら、トランス・サイエンスの領域、「科学によって問うことはできるが、科学によって応えることのできない問題群から成る領域」においては、市民も専門家と同等の立場にあり、科学と向き合い対話を続ける責任をもっている。しかし市民と専門家との対話は、一方的に「科学」（の正しさ）を学ばせるものではなく、また非日常的な場（イベント等）において情報を与えるだけでなく、市民の日常的な文化的営みの中において“科学との対話”が為されるようなものでなければならない。大学の知を地域社会の振興・発展につなげるにあたっては、大学の活動と市民のまちづくりとが連動したものとなる必要がある。

この授業は、京都が抱える課題の基本事項を学ぶとともに、文化・科学一体型の大学と地域のコミュニケーションを、まちづくりの観点から捉え直す機会を提供する。

なお本授業は、文部科学省「地（知）の拠点整備事業」（京都学教育プログラム）の一環として開講されるものである。その目的は、単に京都に関する事柄を学ぶのではなく、京都が抱える諸課題を手掛かりに、わが国や世界の未来を想像（創造）できるための基礎を培うことにある。

[到達目標]

講義およびゲストスピーカーによる講演、京都の抱える課題についての調査を通じて、以下の能力を養うことを目指す。

(1)責任力： 自らが京都のあるべき未来像を創造し、実現する責任を担う一主体であるに自覚的である態度。

(2)俯瞰力： 京都が抱える現実課題、あるいはこれまで実施されてきた地域志向の取組を、長期展望とグローカルな広い視野、俯瞰的視野のもとで捉え直す力。

(3)創造力： 俯瞰的に捉えた課題に対して、本学が有する先進的「知」を活用しつつ、京都の新たな未来像、新たな課題解決方策を創出できる力。

(4)現場力: 創出された新たな未来像、新たな課題解決方策を、資源が限られた条件のもとで実行可能な形で確実に実現させる実務能力。

(5)協働力： 新たな未来像、新たな課題解決方策の創出に向けて学生同士、教員、京都地域関係者と共に議論し、また創出された方策等を学生同士、教員、京都地域関係者と協力して実現する力。

[授業計画と内容]

本事業では、関西学研都市で科学コミュニケーション活動を実践しているNPO、研究機関のネットワークを活用し、在野の研究者、実践家といった大学外の専門家をゲストスピーカーとして招聘し、一部講義を行う。

さらに、講義で身につけた知識をもとに、受講生それぞれが関心を持ったテーマを設定し、京都が抱える課題の調査を行い、その課題の解決につながる方法について受講生なりの提案をすることを目指す。受講生数によっては、テーマの近しい者同士でグループを作成し、グループでの調査・提案の作成を行う場合もある。

京都のまちづくり －文化・科学の交流と地域活性－(2)へ続く↓↓↓

京都のまちづくり －文化・科学の交流と地域活性－(2)

1．オリエンテーション
2．トランス・サイエンスの領域に如何に挑むか
3．文献調査の方法
4．質的調査の方法
5．調査テーマの設定
6．実践事例と成果（1）
7．実践事例と成果（2）
8．実践事例と成果（3）
9．実践事例と成果（4）
10．中間報告
11．分析の方法
12．調査結果の分析（1）
13．調査結果の分析（2）
14．発表と意見交換
15．まとめ

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点及び達成度]

レポート試験をもって成績評価を行います。授業内容を踏まえた上で，大学と地域のコミュニケーションのあり方について，受講生自身が議論を展開できるかどうかが評価の基準となります。

[教科書]

使用しない
（授業中にレジュメ、資料等を配付する。）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学習（予習・復習）等]

詳細については授業ごとに指示を行う。
主にレポート作成のための調査等の作業が必要となる。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。
また、担当教員の連絡先や、細かな予定については授業ごとにその都度連絡をします。